



2022年5月9日

各位

会社名 株式会社ワールド
 代表者名 代表取締役 社長執行役員 鈴木 信輝
 (コード番号: 3612 東証プライム)
 問合せ先 副社長執行役員 中林 恵一
 (TEL: 03-6887-1300)

通期業績予想値と実績値との差異に関するお知らせ

2022年1月13日に公表しました2022年3月期の業績予想につきまして、本日発表の実績値との間に差異が生じたので、下記の通りお知らせします。

1. 2022年3月期 業績予想数値と実績値の差異 (2021年4月1日～2022年3月31日)

	売上収益	コア営業利益	営業利益	税引前 当期利益	当期利益 (親会社の所有者 に帰属)
前回発表予想 (A)	百万円 183,179	百万円 5,277	百万円 2,147	百万円 1,265	百万円 529
実績値 (B)	171,344	5,389	2,196	1,410	239
増減額 (B-A)	-11,834	112	49	145	-290
増減率 (%)	-6.5	+2.1	+2.3	+11.4	-54.8
(ご参考) 前期実績 (2021年3月期)	180,322	-6,499	-21,637	-22,556	-17,149

2. 差異の理由

第4四半期につきましては、2022年1月以降の新型コロナウイルス感染急拡大が自粛モードの広がりや店頭売上の減少を招きましたが、2月下旬からは気温の上昇に伴って客足が回復傾向となって春物商品が活発に動くとともに、セレモニーに代表される外出着への需要が全般的に旺盛でした。春物商品のプロパー販売の伸張とセール品オフ率の適切なコントロールで粗利率が改善するとともに、前期より実施してきた構造改革の効果が順調に拡大してきたことに加えて、きめ細かな経費コントロールも引き続き奏功しました。結果として、1月13日に公表した業績予想からは売上収益が減少したものの、本業の稼ぐ力であるコア営業利益は業績予想を上回りました。

コア営業利益が業績予想を達成したことに加えて、退店費用及び減損損失が含まれるその他損益、そして、金融収支も概ね想定通りの着地となり、営業利益と税引前利益はいずれも業績予想を超過しました。一方で、当期利益（親会社の所有者に帰属）は、法人所得税が想定以上の負担となって未達となりました。

なお、期末配当は、2021年11月4日付けの配当予想を据置き、1株当たり27.0円の実施を予定しています。当社では、配当による株主還元を経営の重要施策の一つと位置付けております。配当については、一時的要因を除いた調整後利益に配当性向を乗じて求める方針に基づき、持続的な利益成長による増加（増配）を目指しております。今回は、黒字転換した下期の当期利益から、株式会社ナルミヤ・インターナショナルの子会社化に伴って発生した一時損失などを除き、こうして求められた調整後利益を配当原資にしました。

以上